

情報ビジネス  
コミュニケーション学科  
1年次

---

授業案内（シラバス）

# 情報ビジネス コミュニケーション学科

1年次  
(日越通訳・翻訳コース)

---

授業案内 (シラバス)

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 共通科目授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
中国語入門	1・2年次	4	李偉	火曜日・3時間目

### 概要

本授業は、中国語の正しい発音、簡単な会話、基本文法を習得することを目的とする。まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で基礎文法を学び、会話練習や作文などを平行して行うことを通じて中国語の基礎を築く。

### 到達目標

中国語の発音、そして中国語の基礎文法と簡単な会話の習得を目標とします。

### 受講要件

なし

### 評価方法

期末試験の成績を60%とし、普段の小テストの成績や授業の態度を40%として、総合評価する。

### テキスト

「中国語はじめの一步」  
白水社

### 参考書

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 中国語について・声調・単母音	1 第6課 「動作の完了」「所在」・助動詞「想」
2 複合母音・音の比較・練習	2 トレーニング・練習問題だど
3 鼻母音・音の比較・練習	3 第7課 介詞・「存在」表現・反復疑問文
4 第1課 “是”の文・人称代名詞	4 トレーニング・練習問題だど
5 トレーニング・練習問題など	5 第8課 「時間量」・助動詞「得」介詞「从」
6 第2課 疑問詞疑問文・“的”の用法・副詞	6 トレーニング・練習問題だど
7 トレーニング・練習問題だど	7 中間テスト
8 第3課 動詞の文・「所有」を表す文だど	8 第9課 「過去の経験」・「是～的」の文
9 トレーニング・練習問題だど	9 トレーニング・練習問題だど
10 第4課 形容詞の文・量詞・指示代名詞	10 第10課 助動詞“能”“会”・「動作の様態」
11 トレーニング・練習問題だど	11 トレーニング・練習問題だど
12 第5課 日付・時刻表す語・数字	12 第11課 「動作の進行」・選択疑問文
13 トレーニング・練習問題だど	13 トレーニング・練習問題だど
14 前期期末テスト	14 後期期末テスト
15 追試予備日	15 追試予備日

### 教員紹介

大学院修士課程修了後、東京外語専門学校とJALアカデミーの中国語講師として経験を積む。現在は本校とほかの大学の教師として活躍中。実務経験に基づいて、中国語の授業を展開する。

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳基礎1	1年次	4	ズン	月曜・2時間目(Dクラス) 金曜・1時間目(Eクラス) 金曜・2時間目(Fクラス)

### 概要

ベトナム語から日本語、日本語からベトナム語の翻訳

1. 文の翻訳
2. 段落の翻訳

### 到達目標

1. ベトナム語の文を正しくて、自然に日本語に翻訳できること。
2. 日本語の文を正しくて、自然にベトナム語に翻訳できること。
3. 上記の1・2をうまく書いたり、話したりできること。

### 受講要件

1. ベトナム人日本語学習者
2. 『みんなの日本語』Iと『みんなの日本語』IIを習得した学習者

### 評価方法

筆記試験(総合)  
時間:50分

### テキスト

### 参考書

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 越日 文15 P1	1 越日 文15 P8
2 日越 小学校の先生	2 日越 ビアガーデン
3 越日 文15 P2	3 越日 文15 P9
4 日越 携帯電話	4 日越 パリ
5 越日文15 P3	5 練習
6 日越 双子の姉妹	6 越日 文15 P10
7 越日文15 P4	7 日越 私の国の社会問題
8 日越 地震	8 越日 文15 P11
9 越日文15 P5	9 日越 私の国のお正月
10 日越 アメリカにいる友達	10 練習
11 越日文15 P6	11 越日 文15 P12
12 日越 東京大学の学生	12 日越 シンガポール
13 越日文15 P7	13 越日 文15 P13
14 日越 ゆりさんの家	14 日越 ベトナムへ行こう、ベトナムに行く前に
15 期末試験	15 期末試験

### 教員紹介

グエン・ティ・フォン・ズン

応用言語学専攻 修士号(日本語教育)／日本語教育の経験:12年／応用言語学研究科 博士後期課程 2年

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳基礎2	1年次	4	荒木 ヴァン	Dクラス:木曜日・2時間目 Eクラス:木曜日・3時間目 Fクラス:木曜日・1時間目

### 概要

N3レベルの語彙力・文法力・読解力・作文力を復習しながらN2レベルへの向上を図り、正確に日本語からベトナム語に、ベトナム語から日本語に翻訳することを学習する。

### 到達目標

N2レベルの語彙力・文法力・読解力・作文力を運用して、正確に翻訳できるようにする。

### 受講要件

N3合格レベル

### 評価方法

定期試験、宿題提出、出席状況、授業態度

### テキスト

オリジナル教材

### 参考書

- ・「留学生のための時代を読み解く上級日本語」スリーエーネットワーク
- ・「朝日新聞」ほか

### 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	オリエンテーション	1	調べ学習「ベトナムについて」(1)
	自己紹介		調べ学習「ベトナムについて」(2)
5	スピーチ「好きな漢字について」	5	発表「ベトナムについて」グループ①～⑥
	新しい年号は「令和」(1)		外国人労働者を幅広く受け入れ
1	新しい年号は「令和」(2)	1	とくていぎのう1号・2号とは
	2019年日本経済の展望(1)		熱中症にならないために気をつけること(1)
5	2019年日本経済の展望(2)	5	熱中症にならないために気をつけること(2)
	復習		プラスチックごみ減らそう(1)
	JLPT対策		プラスチックごみ減らそう(2)
	期末試験		期末試験

### 教員紹介

ベトナムの医大卒業。介護福祉士。通訳・翻訳の経験有。

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス知識1	1年次	4	三城	Dクラス:水曜日・1時間目 Eクラス:水曜日・2時間目 Fクラス:金曜日・2時間目

### 概要

卒業後社会人として基本のビジネスマナー及び基礎的なビジネス用実務知識。

### 到達目標

教科書の内容を理解、実際のビジネス場面を取り入れ理解力を深めさせる。

### 受講要件

なし

### 評価方法

100点中期末試験は40点、授業への参加意欲は30点、検定試験結果は30点。

### テキスト

ビジネス能力検定ジョブパス 2, 3級及び問題集

### 参考書

新聞記事、過去実務資料

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 キャリアと仕事へのアプローチ	1 仕事への取り組み方
2 同上	2 同上
3 仕事の基本となる8つの意識	3 ビジネス文書の基本
4 同上	4 同上
5 コミュニケーションとビジネスマナー	5 電話対応
6 同上	6 同上
7 指示の受け方と報告、連絡・相談	7 統計・データの読み方・まとめ方
8 同上	8 同上
9 話し方と聞き方のポイント	9 情報収集とメディアの活用
10 同上	10 同上
11 来客対応と訪問の基本マナー	11 会社を取り巻く環境と経済の基本
12 同上	12 同上
13 会社関係での付き合い	13 ビジネス用語の基本
14 同上	14 同上
15 定期試験	15 定期試験

### 教員紹介

元関西電力エンジニアリング技術部長。東京外国語大学、早稲田大学、城西国際大学での講演、講義。現在LEOCグループ顧問、ASEAN人材教育支援機構理事として海外、国内での実務経験を活かして受講生に問題をわかりやすく理解させる。

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス コミュニケーション I	1年生	4	吉永	Dクラス:水曜日1限目 Eクラス:月曜日2限目 Fクラス:水曜日2限目

### 概要

前期:敬語の基礎(尊敬語・謙譲語の使われる場面)の学習。ロールプレーを通じてペアで発表することに慣れる。発音(ベトナム人が弱い発音の集中練習。)  
後期:スピーチなどのパフォーマンスで人前で話すことに慣れる(個人)。自己PRを考える(自分について知ることの大切さ)。最終的に履歴書が書けるように。

### 到達目標

丁寧な日本語を使い自分をアピールすることが出来るようになる。(就職試験の準備)

### 受講要件

N3合格レベル

### テキスト

日本語敬語トレーニング(アスク)  
Shadowing 日本語を話そう

### 評価方法

期末試験 50点  
ロールプレー評価 40点  
授業への参加度(出席率)10点

### 参考書

就活・仕事の日本語会話(アスク)1日10分のシャドーイング  
中級レベルロールプレーで学ぶビジネス日本語

### 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1  5  1 5	* 発音練習 ベトナム人が弱い発音の集中練習	1  5  1 5	* 発音練習 Shadowing 「自己PR」「志望動機」をShadowingを することで意識させる
	* 敬語 テキストを使った講義 1課 訪問する		* スピーチ 人前で一人で発表することに慣れる
	2課 簡単に挨拶する		「～年後の私」「自己PR」等々
	3課 誘う		スピーチコンテストに向けての準備
	4課 お願いする		* 敬語 テキストを使った講義
	* 各課 ロールプレー・最終目的は 習った敬語を使った会話		5課 断る
	・ペアで発表(原稿なし)		6課 申し出る
	・人前で2人で発表することに慣れる		7課 おわびする
	* 定期試験 敬語テキストの筆記試験		* 各課ロールプレー発表
			* 履歴書の書き方指導 学歴 職歴 資格 自己PRまで
	* 定期試験 敬語テキストの筆記試験		

### 教員紹介

担当教員は15年間日本航空客室乗務員として勤務した経験があり、退職後は10年間日本航空の外国人客室乗務員を現地(タイ、シンガポール、香港、ドイツ、イギリス)と日本において日本語指導に携わった。また、並行して主に三菱商事の日本駐在員にも10年間に渡りビジネス日本語の指導経験がある。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス会話	1年次	4	池添	Dクラス:火曜日1時間目 Fクラス:火曜日2時間目 Eクラス:火曜日3時間目

概要

- ・職場にふさわしい丁寧な日本語が使えるようになる。
- ・自然なイントネーションを身に付け、スムーズな会話ができるようになる。

到達目標

職場で日本人と日本語を使って仕事ができるようになる。

受講要件

N3合格レベル以上

評価方法

授業参加度・定期試験

テキスト

『人を動かす！実践ビジネス  
日本語会話 中級1～2』  
スリーエーネットワーク

参考書

適宜、授業中に紹介

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	導入 自己紹介	1 5	お世話になった人にあいさつをする
	新人を歓迎する		クライアントに提案する
	仕事の引継ぎをする		プロジェクトの打ち上げをする
	取引先を訪問する		トラブルに対応する
	営業報告会に出る		引っ越しについて話し合う
	職場の人とランチに行く		ランチミーティングをする
	人材紹介会社の人と会う約束をする		ビジネスの話を持ちかけられる
	人材紹介会社の人と面談をする		妻に仕事の相談をする
面接を受ける	ビジネスパートナーと議論する		
			総復習

教員紹介

上智大学外国語学部卒業後 本田技研工業(株)にて12年勤務。製造業の要である生産、販売、物流業務に携わる。自らの外国語習得とビジネス経験を踏まえて、より実践的なビジネス日本語を体得できるよう授業を展開していく。

2019年 情報コミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日越ビジネス事情1	1年次	4	屋間 賢	月3時限目 木1時限目 木2時限目

概要

卒業後は日本での就労または母国での日本関係の就職を目標に、日越関係の基本を言葉遣いから学習する。特に、両国人間の円滑なコミュニケーションの方法を習得する。

到達目標

将来的には日越関係における指導者的な立場に立つ人間になるよう、より総合的な認識と判断力を養う。

受講要件

N3程度

評価方法

期末試験 授業への積極的な参加(課題提出など)

テキスト

『コミュニケーション検定 初級』  
様々な媒体からコピーする

参考書

『旅の指さし会話帳 ベトナム』  
『コミュニケーション検定 上級』

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	故郷のことを日本語で紹介する1	1 5 1 5	増加するベトナム人「労働者」
	故郷のことを日本語で紹介する2		・工業の分野で
	日本人とベトナム人1		・農業の分野で
	日本人とベトナム人2		人事管理の基本
	日本社会とベトナム社会1		・傾聴
	日本社会とベトナム社会2		・情報共有の重要性
	日越ニュースを読む1		・チーム・コミュニケーション
	日越ニュースを読む2		・クレーム対応
	日越ニュースを読む3		問題演習1
	増加するベトナム人観光客		問題演習2

教員紹介

担当教員は、フランスでの留学経験とその間に大新聞の支局での勤務経験を有し、帰国後は大学の非常勤講師や出版社の編集職、また日越バイリンガルのコミュニティ新聞の編集職を務める。七度にわたる渡越経験がある。

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス能力 検定対策	1・2年次	4	三城	1年生:木曜日4時間目 2年生:金曜日3時間目

### 概要

<ビジネス知識1・2>で学んだことを復習しつつ、公式試験問題集の問題、および過去の実際の試験問題を数多く解き、ビジネスのに関する知識・能力を確かなものとする。その結果、ビジネス能力試験2級、3級に合格できるように指導する。

### 到達目標

日本能率協会マネジメントセンターが実施するビジネス能力検定2級、3級に合格する。

### 受講要件

<ビジネス知識1・2>を履修していること。

### 評価方法

授業に参加する姿勢と、ビジネス検定試験の点数によって評価する。

### テキスト

ビジネス能力検定2・3級  
公式試験問題集

### 参考書

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 平成30年度B検後期試験問題解説	1 平成27年度B検後期試験問題解説
2 同上	2 同上
3 同上	3 同上
4 平成30年度B検前期試験問題解説	4 平成27年度B検前期試験問題解説
5 同上	5 同上
6 同上	6 同上
7 平成29年度B検後期試験問題解説	7 平成26年度B検後期試験問題解説
8 同上	8 同上
9 同上	9 同上
10 平成29年度B検前期試験問題解説	10 平成26年度B検前期試験問題解説
11 同上	11 同上
12 同上	12 同上
13 平成28年度B検後期試験問題解説	13 平成25年度B検後期試験問題解説
14 同上	14 同上
15 定期試験	15 定期試験

### 教員紹介

元関西電力エンジニアリング技術部長。東京外国語大学、早稲田大学、城西国際大学での講演、講義。現在LEOCグループ顧問、ASEAN人材教育支援機構理事として海外、国内での実務経験を活かして受講生に問題をわかりやすく理解させる。

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
情報処理1	1年次	4	谷口 貴子	Dクラス: 火曜日3時間目 Eクラス: 木曜日1時間目 Fクラス: 木曜日3時間目

### 概要

Windowsの基礎知識、タッチタイピング、WordおよびExcelの基礎を学ぶ

### 到達目標

ワードで簡単な文書作成、エクセルで表、グラフ、集計ができるようにする

### 受講要件

ローマ字入力できること

### 評価方法

授業での課題、期末の実技テスト

### テキスト

FOM出版 Word2016基礎 ¥2160  
Excel2016基礎 ¥2160

### 参考書

### 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	導入・WindowsおよびWordの基礎知識	1 5 1 5	エクセル基礎知識・データ入力
	ホームポジション・文字入力		表、罫線など
	漢字変換 特殊記号等の入力		SUM、AVE関数
	ビジネス文書		関数と入力方法 絶対参照 相対参照
	案内書作成		シート間集計
	書式設定		集計練習問題
	表作成		印刷方法について
	申込書作成		グラフ
	文書の編集		データベース
	ワードアート		検索・置き換え 総合問題

### 教員紹介

IT企業でプログラミング、システムエンジニアとして勤務。企業向け新入社員教育や求職者支援プログラムでの職業訓練指導経験有。

## 2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日本事情	1・2年次	4	高橋	火曜日 2時間目 Dクラス 火曜日 3時間目 Eクラス 水曜日 2時間目 Fクラス 水曜日 3時間目 選択授業

### 概要

現代日本の特徴に加え、社会で問題になっている事や、その構造的な原因などについて学びます。

### 到達目標

日本社会で暮らし、仕事をしていく上で最低限の一般常識を身に付ける。

### 受講要件

授業に積極的に参加する気構えが必要です。

### 評価方法

テスト結果および出席率で総合的に判定します。

### テキスト

担当講師が作成したプリントを配布します。(印刷代を請求します)

### 参考書

クローズアップ日本事情15

	前期		後期
1	日本ってどんな国？① 日本ってどんな国？② 都市の暮らし・地方の暮らし① 都市の暮らし・地方の暮らし② 日本の旅を楽しもう① 日本の旅を楽しもう②	1	現代文化とポップカルチャー① 現代文化とポップカルチャー② スポーツの楽しみ方① スポーツの楽しみ方② 前進を続ける科学技術① 前進を続ける科学技術②
5	前期中間テスト いただきます！① いただきます！② 季節を楽しむ年中行事① 季節を楽しむ年中行事② 伝統文化体験① 伝統文化体験② 前期期末テスト	5	後期中間テスト 地球のためにできること① 地球のためにできること② 教育と子供たち① 教育と子供たち② 多文化共生社会を目指して① 多文化共生社会を目指して② 後期期末テスト

### 教員紹介

担当教員は3年の外国在住経験に加え、ベンチャー系IT企業(株)パワーソリューションズ、大学受験予備校(みすず学苑)での勤務の後、現在は学習塾を運営しており、企業の求めるグローバル人材像を念頭に置き、経営の実体験に基づいた授業を展開する。